
白の少年と、黒の少女の出会い——

ムーンデイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白の少年と、黒の少女の出会い――

【Nコード】

N2849L

【作者名】

ムーンデイ

【あらすじ】

”地獄の番人”と”漆黒の死神”の出会いの物語。切符から発動される力、超能力。風変わりな裏の駅に集まる超能力者。そんな異常な者たちがチームを組み互いに競い合う。次世代鉄道物語。エキセンの設定とストーリーを根本的に見直した作品。これはそのプロローグの一部。

（前書き）

作り直し中のエキセンのプロトタイプ。
プロローグにあたる所。

それが訪れたのは突然の事だ。

瞬きをした——刹那の間に、日常が崩れた。

人が。

物が。

世界が。

万物が。

少年を拒絶するかのようには、”普通の場所”から弾き出す。

「うああ、ああ……」

叫ばないと言わないと呼ばないと……声を出さないと。

口から言葉を大きな声に乗せて、求めるんだ。

——だけど、出ない。

喉に蓋を閉められてるかのようには、思うことを現実に出さない。
僅かな隙間から、雑音ノイズみたいな音しか出ない。

「う、くう……く、来るなっ！」

押し出すように吐き出された台詞を、襲い来る異形にぶつける。

だが、止まらない。

一步。

また一步。

更に一步を踏み出す度に徐々と、その異質な体を変化させていく。
肉体、表情はおるか光すらも感じられない”黒い何か”は、無音
で形状を構築する。

四つの脚で大地を駆け、不気味に光る白くて丸い目で目標を狙う。
2メートルは超える狼に近い形。

「いや……く、来るなよ……」

逃げたい、逃げたいよ……でも、脚が凍りついたみたいに動かない。

恐怖で息が荒くなるだけで、思考すら回らない。

——迫る。

近づいてくる”異物”を前にして、”逃げる”という選択肢は消えていた。

怖い。

死にたくない。

生きたい。

動かなくなった脚で逃げることは出来ず、足を動かす為の脳は異常停止してしまった。

——迫る。

じりじりと迫り来る”異物”と共に、心の中から這い上がる恐怖に身を震わす。

こっち見るな。こっちに来るな。あっちに行けよ！

必死に願っても獲物を見つけた狩人の如く”狼の異物”は近づいてくる。

そしてそれは、巨大な口を開けて——少年、泉条一へと噛み付いた。

——ガブリっ！

「あああああああああああああああああああああ！」

上顎が背中を、下顎が胸を、巨大な牙が体を貫く。

骨を砕き、肉を食らう。体内を駆け巡る血が外へと噴射してあたり一面に赤色の雨を降らす。

そう、口腔内で条一が処理された……二つの引きちぎられた体が地面へと落ちた。

俺、死んだんだ……まだ見つけてないのに、本当の自分を。

ゴメンなさい……っ。

「……邪魔」

——そう、条一は死んだ。噛み付かれたはずならば。

斬り落とされたのは”異物”の頭。斬り下げたのは大鎌。

それを両手で持つのは、条一の目の前に舞い降りた少女。

異物を、ガラスの様に透明で綺麗な大鎌で切り裂いた、黒い長髪を靡かせて小柄の体で自信の身長は二倍はある大鎌を振り回す少女。

「退いて」

吊り上がった目で少女は言った、

「——一度^{いちど}ならず殺してあげる」

これが後に地獄の番人と呼ばれる少年と、漆黒の死神である少女との最初の対面。

物語はここから進む……破滅のゲームへ向い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2849/>

白の少年と、黒の少女の出会い――

2010年10月9日07時27分発行